



2020年 1月24日

第1回 先端ロボティクス・チャレンジ (ARC) 書類・プレゼン審査通過チーム

※並びは応募順です。審査での順位、競技順等とは関係ありません。

| No. | 代表者所属 | チーム構成 |
|-----|-----------------------|--|
| 1 | 旭川工業高等専門学校 | 旭川工業高等専門学校 |
| 2 | 大阪大学 | 大阪大学・シンガポール大学・香港城市大学 (日本・シンガポール・香港) |
| 3 | 防衛大学校 | 防衛大学校 |
| 4 | 慶応義塾大学 | 慶應義塾大学 |
| 5 | Emesent社 | Emesent社 (オーストラリア) |
| 6 | 神戸大学 | 神戸大学・立命館大学・エアロセンス株式会社 |
| 7 | 千葉大学 | 千葉大学・国立情報学研究所・株式会社Liberaware |
| 8 | Team ArduPilot JAPAN | Team ArduPilot JAPAN |
| 9 | 株式会社mmガード | 株式会社mmガード 株式会社On And On・株式会社富士空撮サービス・株式会社コアライン |
| 10 | 株式会社四門 | 株式会社四門・熊本大学・株式会社 スカイリモート |
| 11 | 大阪大学チーム | 大阪大学・北九州工業高等専門学校・合同会社Next Technology |
| 12 | インド工科大学 | インド工科大学・ディーキン大学・テキサス大学・エディンバラ大学 (インド・オーストラリア・アメリカ・イギリス) |
| 13 | 株式会社WorldLink&Company | 株式会社WorldLink&Company 京都大学・徳島大学・名古屋工業大学・株式会社WorldLink Protech |
| 14 | 大同大学 | 大同大学 |

【審査方法】

先端ロボティクス財団のコンペティション審査選考委員、理事・評議員のうち、応募チームの全メンバーと利害関係のない10名を審査員として選出。「問題設定と革新性・創造性」「社会実装性と緻密性・問題解決力」「専門性と技術力・統合力」「経済性と社会普及性」という4項目を各5点満点、合計20点(全審査員の合計200点満点)で採点した。

※競技に向け、地元福島県に本社を有するドローン関連企業イームズロボティクス株式会社にご協力いただきます。